

「わが家は大丈夫！ 黄色いハンカチ作戦」

「わが家は大丈夫！黄色いハンカチ作戦」とは、災害時に「わが家は大丈夫。」「他の方を助けてほしい。」という目印として、道路から見える場所に黄色いハンカチを掲げていただくものです。

ハンカチを掲げていない家庭には、ご近所、地域の人、消防、警察の救助が早く行われます。

このように、黄色いハンカチを掲げることで『安否確認』を短時間で容易に行うことができます。



富士宮市では、この運動を自主防災会の方に周知していただき、定期的な訓練をお願いします。

なお、黄色いハンカチは、愛の丘で作成し、市役所で1枚400円（令和4年9月1日から1枚500円）で販売しています。

枚数によっては、郵送でのお届けも可能（郵送料別途負担）ですので、危機管理局へ御連絡ください。

黄色いハンカチを掲げる基準は
市内で「震度5強以上」の地震が発生したとき。
（この場合、市の同報無線でもお知らせします。）

富士宮市危機管理局
電話：0544-22-1319



「わが家は大丈夫！黄色いハンカチ作戦」の実践例

1 安否確認範囲の設定

- ① あらかじめ、隣保班を5～6軒程度のグループに分ける。
- ② グループのリーダーを決めておく。

2 地震発生直後

- ① 自分の家が大丈夫なら黄色いハンカチを掲げる。
- ② ブレーカー、ガスの元栓等を締めて、グループ内の家を確認に行く。
- ③ グループ内で黄色いハンカチが掲げられているか確認する。
- ④ 黄色いハンカチが掲げられていない家があった場合は、留守なのか、安全なのか、声かけを行う。（実際の地震時には、負傷者等がいたら救出、救護、応援等と呼び、消火活動も行う。）
※負傷者等の救出、救護・消火活動を最優先する。

3 隣保班長への報告

- ① 町内で決めた一時避難地へ集まる。
- ② グループのリーダーは、自分たちの区域の無事な家（黄色いハンカチが掲げられている家）の件数、無事でない家（黄色いハンカチが掲げられていない家）の件数及び被害状況等を班長へ報告する。
- ③ 班長は、町内会長又は町内の防災リーダーへ報告する。

4 自主防災会長への報告

- ① 自主防災会（区）で決めた避難地へ集まる。
- ② 町内会長又は町内の防災リーダーは、無事な家（黄色いハンカチが掲げられている家）の件数、無事でない家（黄色いハンカチが掲げられていない家）の件数及び被害状況等を自主防災会長へ報告する。
- ③ 自主防災会（区）で決めた避難地に集合していない地域を見に行く。（救出、救護の必要性が高い。）
- ④ 負傷者の手当て及び負傷者を救護所、救護医院、災害拠点病院へ搬送する。
- ⑤ 市指定避難所への避難を開始する。

黄色いハンカチを掲げる基準は、「市内で震度5強以上の地震が発生したとき。」（この場合、市の同報無線でもお知らせします。）